
思いつきシリーズ～ネギま！編(草案)～

修羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

思いつきシリーズ〜ネギま！編（草案）〜

【Nコード】

N9085X

【作者名】

修羅

【あらすじ】

全く原作キャラが出て来ない短編です。

はい、タイトル詐欺です。すみません。

続きが浮かんたら、連載小説として出したいと思います。

(前書き)

えゝ修羅です。

今のところ、予定です。この短編に原作キャラとか出てきません。申し訳御座いません。

ルーアンで、罵声が飛び交う。魔女め、悪魔め、異端者め。

違う。私は魔女では無いし、悪魔ですらないし、異端者なわけがない。だって、あの日あの時、私が聞いたのは天使の声だったのだから。

「これより、異端者ジャンヌ・ダルクの公開処刑を始める」

処刑人の宣告が聞こえる。人々の恨みの声が聞こえる。殺せ、殺せ、コロセ。

あいつに俺の弟は殺された。あいつに私の夫は殺された。あいつに、あいつに、あいつに、……………

「　　っ！！」

なんという、……………なんという、怨念。これは正しく呪い。私、ジャンヌ・ダルクが死ぬように掛けられた呪い。

私は、火刑に処される。肉体が残らぬように。最後の日に復活しないように。

「火を放てえっ！！！」

足元に火が点けられる。火が足に達し、臭う。焦げていく、肉の臭い。

「あ、あああああああああああああああああああああああああああああああっ！！！」

熱い、熱い、熱い、熱い、熱い、アツイ。痛みなど越えた痛み。

苦しみさえ打ち壊す程の苦しみ。

「神様、神様、神様、……………」

偉大なる父に縋るしか、この痛みから解放される術は無い。

すると、群衆の中で私をじっと見つめていた少年の声が聞こえる。

まるで、教会の鐘のように美しい声で、彼は、こう言った。

「神様は、全知全能でしょ？ 人間なんか、助けないよ。だって、
『神は全部知っていて、全部出来るんだから』。人間なんか、必要
としないんだよ」

目の前が、真っ暗になる。フランスにいる戦友は助けに来てくれない。私を煙たがっていたシャルル7世が助けに来てくれるはずもない。だから、だから、縋るのは神しかないのに！！

「あ、あああああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああっ！！」

「そう、そうだよ。絶望しちゃいなよジャンヌ。結局、人間に干渉するのは神じゃなくて、悪魔だけなんだよ」

少年はにつこりと笑っている。よくよく見れば、今まで見たことがない髪の色だ。黒髪？

火の手が体中に回る。も、う、意識が……

「でもさ、君を作ったのも神様なのさ。君みたいな人達は、この地球をより面白可笑しくグロテスクにするために産まれ、そして役目が終わると死ぬ。簡単に言うと、神様の玩具なんだよ。丁度、アレキサンダーとか、シャルルマーニュとか知っている？ 彼らもなんだよ」

わた、しが、おもち、や？

「あはは、もう意識がなくなりそうなんだ？ 安心しなよ、君は闇に染まる才能がありそうだ。欲しいだろ？ 人々からの称賛が。家族からの愛が。恋もしてみたかったでしょ」

「あ、が、ひ、は、……………」

「ふふふふ、君は今からぼく『達』の玩具さ。安心して、きっと新しい自分に会えるよ」

「か、み、ひゃ、」

「無駄無駄。君は目をつけられちゃったんだ。ぼく達に。魂は貰っていくよ、肉体は神様に帰すけど、身体も後できちんと再現してあげる。だから、少しの間、お休み」

ジャンヌ・ダルクはその後、死亡。服が焼け切った後、暫く民衆の前にその裸体は曝け出されたという。そして、灰になるほど燃やし尽くされ、セーヌ川へと流された。

「ああ、ルー？ どう、そっちの方は。……へえ、『呂布奉先』をねえ。まさか女とは思わなかったけど。ぼく？ ぼくは『ジャンヌ・ダルク』を捕まえた」

少年は無邪気な笑顔で携帯電話を振り回す。時代にそぐわない携帯電話を使いこなす、この時代に相応しくない存在を、周りの民衆は気にしない。なぜなら、そこには『だれもない』からだ。

「ん、レウイは『アナスタシア王女』？ フウツツ！ テンションが上がっちゃうよー！」

「うるさいぞ、マモン」

「あ、ごめ〜ん。アスモツち。……………あれ？ いつからいたの？」

「つい先ほどだ。それよりも頼まれていた『甲斐姫』・『バルシネー』を確保してきたぞ」

「わ〜流石、アスモツち」

「で、一体何をおっぱじめる気だ？」

「うわ、今度はベルちゃん？」

「誰がベルちゃんだ！！ それと、言われた通り、『メドゥーサ』

と『巴御前』を確保してきたぜ！」

「オモチャ役者も揃ってきたか。じゃあ、始めようよー！」

「世界を変える存在を、ぼく達で創り出すんだ。神様はいらない。これからは、世界の運命でぼく達が遊ぼう？ ぼく達、『七大悪魔』がね」

これはありえなかった物語。僅かで、しかし強大な力を持つ悪魔たちのささやかな悪戯。これが、世界を変えることになるとは、まだ、誰も知らない……………

(後書き)

一応、ヒロインは今回でてきた人物&原作キャラ(真名・刹那・セラス) 予定です。

良ければ、感想&ご意見をお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9085x/>

思いつきシリーズ～ネギま！編(草案)～

2011年10月25日03時07分発行